



決断と改革と実行。それを行うのは“人”

二大経済誌「財界」「経済界」が年始イベント開催

二大経済誌「財界」「経済界」による年始イベントが開催された。

経済界は「第47回『経済界大賞』・『経済界Golden Pitch 2022』表彰式並びに祝賀パーティー」と銘打って1月13日に帝国ホテル、財界（財界研究所）は「令和4年度『財界賞』・『経営者』贈呈式」と銘打って1月20日にパレスホテル東京での開催であった。

経済界で感じたことは“創生”。

それは、“人”であり、“街”であり…内容は違えども大賞の資生堂社長の魚谷雅彦さんをはじめ、各受賞者が共通して、それぞれの企業フィロソフィーに基づいて新しい挑戦に取り組んでいるということだった。

また今回、本来ならば前年の大賞受賞者であった安倍晋三元内閣総理大臣が祝辞を述べる予定だった。しかし、残念ながら誰もが知るように想像もしなかった形で昨年亡くなってしまった。その意志を受け継ぐ形で菅義偉元内閣総理大臣が祝辞を述べた。

政治家には功罪はつきものなので、その評価は人それぞれだ。ただ、安倍政権が経済再生を最優先にスタートした時、円は80円、日経平均は8,000円。GDPは500兆円に達成していない。数字だけを見れば日本経済はかなり厳しい状況であった。それが、アベノミクスという掛け声のもと、何をいわれようが政策を展開した結果、円は110円、株価は28,000円。そして、GDPは560兆円を超え過去最高の水準まで持ち返すことができたのも事実である。これが昨年の大賞受賞の理由だった。

菅義偉元内閣総理大臣は冒頭で、アベノミクスによる経済再生を評価されての経済界大賞の受賞であったことを本人がとても喜んでいて。そして、「経済が強くなければ、確かな社会保障を樹立させることができない。経済が強くなければ、確かな外交安全保障を遂行することもできない。経済が強くなければ、確かな財政健全化を行うこともできない。そのために必要なことは、決断と改革と実行だ」という安倍元総理の言葉とともに、安倍政権での成果をあらためて確認

し、当時を振りかえった。

このほか、森保一サッカー日本代表監督もサプライズゲストとして審査員特別賞を受賞するなど、とても華やかなパーティーであった。

これに対して、財界は、派手さはないが老舗らしく威風堂々としたパーティーだった。

中でも、冒頭の「問題を起こすのは人ですが、また一方でその問題を解決できるのも人である」という財界村田博文主幹の言葉が特に印象的で、その言葉どおり、時代に即した新しい人づくりに取り組み、実績を残している企業ならびに経営者が表彰されていると感じた。

時代は変わっても、「企業経営は“人”なり」。

AIをはじめとした技術が発展・進化をしていってもこれだけは変わらない。むしろ変えてはいけない。そして、その“人”に焦点を当てて経済を掘り下げていくことで、経済発展に寄与していく。

人を中心にした総合ビジネス誌を長年にわたって発行し続けてきた「財界」ならではの覚悟を感じるパーティーでもあった。

財界としては一堂に会してのリアル開催は三年振り。コロナの影響もあって、招待者数を絞ったという話だったが、それでも多くの経営者や関係者が集まり、経済界とはまた違った熱気を感じるパーティーだった。

コロナで受けたダメージを回復し、また再び経済を強くしていくためには、経済、政治、あらゆる場面で決断と改革と実行しかない。そして、それを行うのは、人である。

それぞれの媒体の特色の違いはあるものの、そうそうたるメンバーが一堂に会することで生まれるパワーにはすさまじいものがある。それを受け、気が引き締まるとともに熱い思いがこみ上げてくるのを感じた。

FKP
INFO

ヒトの腸内は2～6歳で決まる キッズ向け“腸活食品”ブランド「aub for kids」

腸内細菌を研究するAuB（オーブ）が、子ども（主に2～6歳）の腸内環境をケアする商品を発売、キッズ向けの食品分野に参入した。AuBはこれまで、理想的な腸内環境を追求するためにアスリートの腸を研究、その研究成果に基づいた独自のメソッドを確立。このメソッドをもとに商品やサービスを提供してきた。今回、これらの実績が応用できると考え、新たなブランド「aub for kids（オーブ フォー キッズ）」を立ちあげた。

今回、新発売されたのは「kids base（キッズ ベース）」（1箱30包入り、税込5,480円）。無味無臭の粉末タイプで、“菌の多様性が高い腸内環境”をつくることにこだわって開発された。また、無味無臭で溶けやすいので、水やジュース、味噌汁に溶かすなど、錠剤が苦手な子どもでも手軽に摂取することができる。

ヒトの腸内は2～6歳の間に定着する菌の種類や数が決まり、それが将来の健康リスクにも関与するといわれている。「aub for kids」は、それだけ重要な時期に、ビフィズス菌や乳酸菌、酪酸菌といった子どものおなか（腸）に必要な多種類の菌を手軽に補給できるようにする。まさにママやパパ待望の商品。今春には“腸活スープ”も販売する予定だ。「kids base」はAuBのECサイトにて購入できる。



編集後記

月末ギリギリの公開になりました。特に何があったというわけではないのですが、日々、充実して生きていくうちに月日が経っていました。今号は二大経済誌「財界」「経済界」の年始イベントの雑感でまとめました。どちらも老舗の経済誌として、まだまだ役割を果たしていただきたいという業界OBとしての願いを込めました。Aubのキッズ向け新ブランド。腸内環境（定着菌）が子どもの頃に形成されるなんて初耳でした。今回のコロナでもそうでしたが、健康についての情報もビジネス同様随時アップデートして行く必要があると感じました。 加藤佳悟